

○議長（茅沼隆文）

再開いたします。

午後３時００分

○議長（茅沼隆文）

日程第６ 認定第６号 決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）の細部説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（亀井知之）

それでは、読み上げます。

認定第６号 決算認定について。

地方自治法第２３３条第３項の規定により、平成２６年度開成町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算は別冊のとおりにつき、監査委員の意見をつけて認定を求めます。

平成２７年９月４日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、決算書の２５９ページをお開きください。２５９ページです。

後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算総額。

歳入予算現額１億５，９９９万４，０００円、歳入決算額１億５，４４７万８９７円。歳出、歳出予算現額１億５，９９９万４，０００円、歳出決算額１億５，１７５万３，１４９円。歳入歳出差引額２７１万７，７４８円、うち基金繰入額０円。

平成２７年９月４日提出、神奈川県足柄上郡開成町長、府川裕一。

次のページをお開きいただいて、歳入でございます。１款の後期高齢者医療保険料から５款の諸収入まで、歳入合計、予算現額１億５，９９９万４，０００円、調定額１億５，５５２万８，５５７円、収入済額１億５，４４７万８９７円、不納欠損額０、収入未済額１０５万７，６６０円、予算現額と収入済額との比較、マイナス５５２万３，１０３円。

次のページをお開きいただいて、歳出でございます。１款総務費から４款の予備費まで、歳出合計、予算現額１億５，９９９万４，０００円、支出済額１億５，１７５万３，１４９円、翌年度繰越額０、不用額８２４万８５１円、予算現額と支出済額との比較８２４万８５１円、一番下の歳入歳出差引残額２７１万７，７４８円でございます。

それでは、資料３４９ページをお開き願います。３４９ページです。

まず、歳入でございますが、２６年度の歳入合計は１億５，４４７万１，０００円でございます。２５年度が１億４，３２５万８，０００円ですのでプラス１，１２１万３，０００円、伸び率７．８％でございます。また、歳出は２６年度１億５，１７５万３，０００円、２５年度が１億４，１７６万４，０００円ですのでプラス９９８万９，０００円、伸び率が７．０％となります。

歳入の保険料でございますが、後期高齢者医療保険料は２年に１回、改定をしております。２５年度に改定作業を行いまして、２６年、２７年というふうに適用されて

おります。26年度は25年度よりも727万4,000円のプラスとなっております。伸び率5.8%となります。

歳出では、総務費が33.2%の増です。主な理由といたしましては、町村情報システム組合への負担金、こちらを一般会計と各特別会計ごとに支出することになったことによるものでございます。

後期高齢者医療広域連合への納付金についてはプラス945万7,000円、6.8%の伸びとなります。

一番下に被保険者の推移の表がございますが、これをご覧いただきまして、22年度以降、伸び率が5から6%台でございましたけれども、25年度は前年度比1.96%の伸びに縮小いたしました。25年度に75歳に到達された方の人数が、これまでよりかなり少なかった結果ということになりますけれども、26年度は再び6%台に戻っている状況でございます。

それでは、説明資料に移らせていただきたいと思います。説明資料86、87ページをお開きください。86、87、後期高齢者医療事業、歳入でございます。

まず、後期高齢者医療保険料、現年度分特別徴収保険料でございます。収納総件数は7,136件となっております。

続いて、現年度分の普通徴収保険料、普通徴収により納付された保険料でございますが、収納総件数は3,188件、収納率は98.5%になります。現年度分特別徴収と普通徴収を合わせた形での収納率は99.5%、25年度は99.7%でございましたので0.2%の減となっております。

続いて、過年度分の普通徴収の保険料です。収納総件数は46件で9人分、収納率は45.6%になります。現年度分と過年度分を合計した収納率は99.2%、25年度は99.4%でございましたので、こちらも0.2%の減となりました。

一つ置きまして、繰入金。一般会計繰入金、保険基盤安定繰入金です。低所得者に係る保険料の軽減分と、元被用者保険の被扶養者だった者に係る保険料軽減分を県の負担分4分の3と合わせて一般会計から繰り入れているものです。昨年度より22.9%の伸びとなっております。

次のその他一般会計繰入金ですが、保険料徴収等に係る事務費等を一般会計から繰り入れているものでございます。

以下、繰越金、諸収入は省略をさせていただきます、次のページ、88、89ページをお開きください。

歳出でございます。総務費の一般管理費でございますが、保険料徴収等に係る通知の印刷作成や発送を行う事務費、あるいはレセプト点検員の賃金を支出しているものでございます。

次の後期高齢者医療広域連合納付金ですが、後期高齢者医療広域連合へ町が徴収をしました保険料相当額と軽減分の相当額を納付しているものでございます。前年度に比べ6.8%の伸びとなっております。

次の過年度保険料還付金でございますが、死亡等で過年度保険料の歳出還付を行っ

たものでございます。

決算書に戻っていただいて、272ページになります。

実質収支に関する調書でございます。1、歳入総額は1億5,447万1,000円、2、歳出総額1億5,175万3,000円、3、歳入歳出差引額271万8,000円、4、翌年度へ繰り越すべき財源は0でございます。5、実質収支額は271万8,000円となります。

ご説明は以上になります。

○議長（茅沼隆文）

認定第6号 決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）の細部説明を終了いたします。